生きものさがしの参加方法

1．生きものをさがす
さがす場所は、区内であれば
どこでもOK！



2．生きもの発見レポートを書く
生きものを見つけたら生きもの発見
レポート用紙に書こう！

3．生きもの発見レポートを送る
右の「生きもの発見レポートの送り方」
を見て送ろう！（写真も撮れたら送ろう！）

生きもの発見レポートの送り方

①郵便で送る。



②E メールで送る。

③FAX で送る。

④区役所の窓口に持参する。
（本庁舎６階・平日のみ）



下の送り先に送ろう！

生きもの発見レポートの送り先　　しめ切り　令和3年10月15日

①④　〒171-8422　豊島区南池袋 2-45-1
豊島区 環境政策課 環境計画グループ　宛
②　E メール：A0029180@city.toshima.lg.jp
③　FAX：03-3980-5134
問い合わせ先　TEL：03-3981-1597



見つけた生きものの
写真も送ってね！

- 写真をEメールで送るときは、一度に4MBくらいまでの大きさでお願いします。
- いただいた写真は、区の広報紙やニュースレターなどで使用させていただく場合があります。
  また、いただいた写真は原則として返却いたしません。
- 調査の結果は、ニュースレターにして、区のホームページなどに掲載し、みなさんにお知らせいたします。
- **生きもの発見レポート用紙をご提出いただいた方に、ささやかなプレゼントを差し上げております。**
  発見レポート用紙うらに、お名前・ご住所・電話番号をご記入の上ご提出ください（窓口にご提出の場合は不要です）

生きものをさがす時の注意



1．むやみに生きものを殺さないようにしよう。
2．観察した生きものは、逃がしてあげよう。
3．蚊にさされないように虫よけスプレーなどを使おう。
4．毛虫やハチ、ヘビなどの生きものには注意しよう。
5．小さな子は大人といっしょに調査しよう。
6．きけんな場所や他人の土地には入らないようにしよう。

生きもの発見レポート用紙は、豊島区のホームページの「としま生きものさがし（生物多様性）」のページ内からダウンロードできます。
こちらのQRコードから「としま生きものさがし」のページへどうぞ！



ニュースレターもあるよ！

新型コロナウイルス感染拡大防止のための注意点
- ３つの密（密閉空間、密集場所、密接場面）の重なる場所への外出はさけましょう。
- 発熱時やかぜ症状など、体調の優れない時には外出しないようにしましょう。
- 外出した後は、石けんによる手洗いや手指消毒用のアルコールによる消毒をしましょう。
- 緊急事態宣言の発令時には、政府や東京都からの指針を優先しましょう。



編集・発行：豊島区 環境清掃部 環境政策課　　編集協力：株式会社 生態計画研究所



区民参加型生きもの調査ガイド

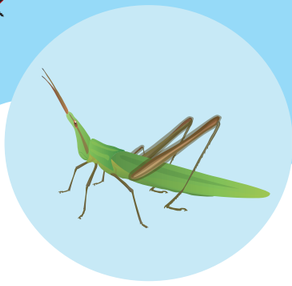
としま生きものさがし2021





調査期間

令和3年
6月1日
から
9月30日



豊島区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

目指すターゲットは 15！

区民のみなさん自身が生きもの調査員になって、区内の生態調査を行います。
毎年さがすことで、生きものがどこにどのくらいいるかの変化を知ることができ、生物の多様性を保つための重要なデータになります。

参加方法はうら面へ

さがしてほしい生きもの　23種（ここに書いていない生きものも見つけたら　おしえてね。）

チョウのなかま

花だんなど花の咲いているところをさがしてみましょう。幼虫の食べる葉のまわりをさがすと卵をうみに来た成虫にあえることがあります。



①アゲハ（ナミアゲハ）　見られる月 4～10月

幼虫の食べる葉：ミカンのなかま（ナツミカン、サンショウなど）



②クロアゲハ　見られる月 4～10月

幼虫の食べる葉：ミカンのなかま（ナツミカン、サンショウなど）



③アオスジアゲハ　見られる月 4～10月

幼虫の食べる葉：クスノキのなかま（クスノキ、タブノキなど）



④ツマグロヒョウモン（左：メス、右：オス）　見られる月 4～11月

幼虫の食べる葉：スミレのなかま（タチツボスミレ、パンジーなど）



⑤モンシロチョウ　見られる月 3～11月

幼虫の食べる葉：アブラナのなかま（セイヨウアブラナなど）



⑥キタキチョウ　見られる月 1年中

幼虫の食べる葉：マメのなかま（ハギのなかま、ネムノキなど）

セミのなかま

鳴き声をたよりに、木の幹や枝の上をさがしてみましょう。



⑦アブラゼミ　見られる月 7～9月



⑧ミンミンゼミ　見られる月 7～9月



⑨クマゼミ　見られる月 7～8月



⑩ツクツクボウシ　見られる月 8～9月



⑪ニイニイゼミ　見られる月 7～8月



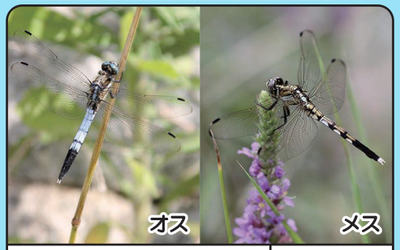
⑫ヒグラシ　見られる月 7～8月



セミのぬけがらのついている木の根もとの地面には、幼虫がぬけ出した穴があいています。夜に幼虫は地面から出て木に登り、羽化をします。

トンボのなかま

池のまわりをさがしてみましょう。



⑬シオカラトンボ　見られる月 4～10月

オスは水色で腹部の先の黒いところがオオシオカラトンボより長い。
メスは黄褐色で腹部の先端が白い。



⑭オオシオカラトンボ　見られる月 4～10月

オスもメスもはねの付け根が黒い。
メスはあざやかな黄色。腹部の先端も黄色い。



⑮ギンヤンマ　見られる月 5～9月



⑯アキアカネ　見られる月 6～11月

バッタ・カマキリのなかま

草むらや木の上をさがしてみましょう。



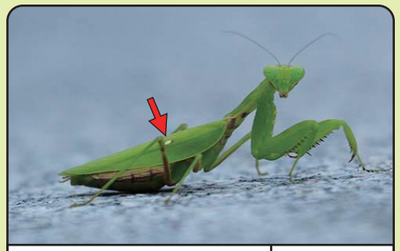
⑰ショウリョウバッタ　見られる月 7～10月

うしろあしが長く、めだちます。



⑱オンブバッタ　見られる月 6～11月

うしろあしは、ショウリョウバッタよりみじかいです。



⑲ハラビロカマキリ　見られる月 7～11月

はねに白い点があります。

ガイドブックも見てね！



区内で見られるおもな生きもののことが書いてあります。
区のホームページからダウンロードできます。

としま生きものガイドブック　検索

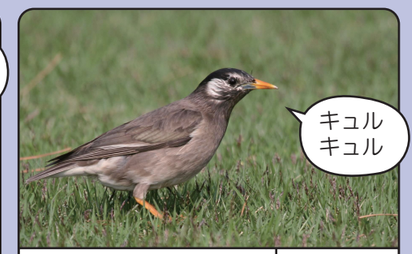
そのほかの動物

鳥をさがす時は、鳴き声がたよりになります。



⑳ヒヨドリ　見られる月 1年中

公園や家のまわりをさがしてみましょう。



㉑ムクドリ　見られる月 1年中

芝生広場など開けた草地をさがしてみましょう。



㉒アズマヒキガエル　見られる月 2～11月

池のまわりの林をさがしてみましょう。



㉓ニホンヤモリ　見られる月 4～11月

家のまわりをさがしてみましょう。